



みやぎ

宮城県で起こりうる災害(火山, 大雨による洪水, 土砂災害, 大雪など)

宮城県には奥羽山脈などの高い山脈, なだらかな丘陵地帯があり, 広大な仙台平野が太平洋に面しています。豊かな自然に恵まれる一方, 火山噴火, 洪水, 土砂災害, 大雪などのリスクも抱えていることを覚えておきましょう。

■火山の噴火による災害

宮城県には栗駒山, 鳴子, 蔵王山という活火山があります。

うち栗駒山と蔵王山は今後 100 年程度の中長期的な噴火の可能性などを踏まえ, 火山防災のために監視・観測体制の充実などが必要な火山です。

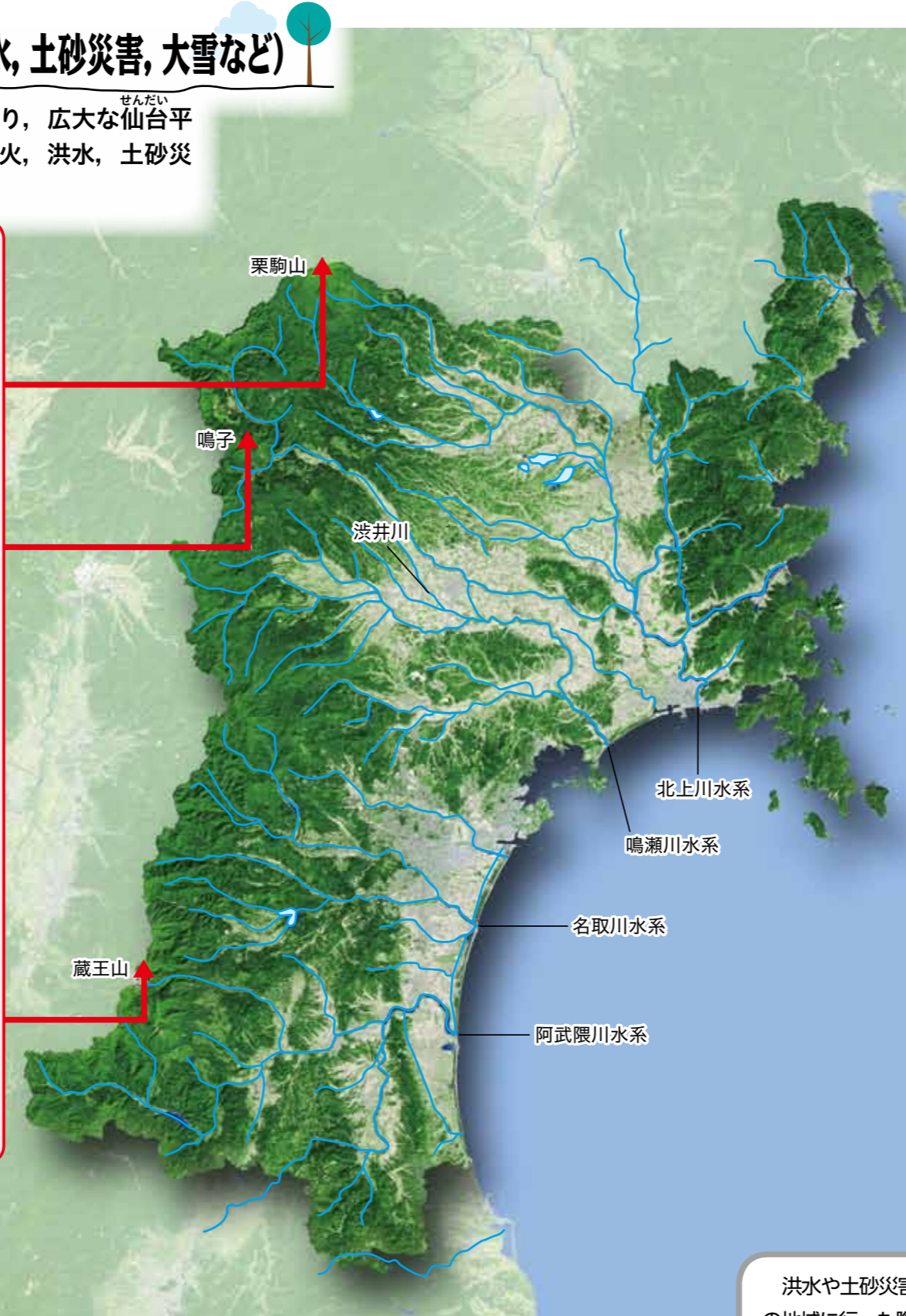
蔵王山では, 火山活動の活発化により 2015 (平成 27) 年 4 月に火口周辺の警戒を呼び掛ける「火口周辺警報」が発表されたこともありました。同年 6 月には噴火の可能性が低くなったと判断され, 「噴火予報」に引き下げられていますが, 今後も火山活動を見守っていく必要があります。

蔵王山の噴火で一番起こりやすいと考えられているものは, 水蒸気爆発とそれによる火山れき・火山岩塊噴出, 火山灰の噴出(降灰)で, 火山灰が厚く降り積もった際には土石流が, 雪のある時期には融雪型火山泥流が起こりやすくなると考えられています。

被害想定結果④(マグマ噴火期の降灰)



(出典：蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画(平成27年5月25日策定)・計画概要資料より)



■洪水による被害

宮城県には、北上川水系、鳴瀬川水系、名取川水系、阿武隈川水系の4つの一級河川水系をはじめ、二級河川まで含めると34水系325の河川があります。これまでに大雨による洪水の被害をもたらした事例から、時として、近年の大雨や台風の影響から、居住地域に浸水被害が及ぶことも考えておきましょう。

- 1986 (昭和61) 年8月4～5日 台風第10号による洪水
県南部, 中部, 三陸沿岸部を中心に7河川11か所で破堤, 99河川で越水。
- 1994 (平成6) 年9月22～23日 集中豪雨による洪水
名取川水系増田川・川内沢川, 阿武隈川水系五間掘川における破堤や越水。
- 2002 (平成14) 年7月10～11日 台風第6号による洪水
5河川8か所で破堤, 3,400棟以上が浸水。
- 2006 (平成18) 年10月5～8日 台風の影響で発達した低気圧による洪水
北上川水系皿貝川など6河川, 鳴瀬川水系名蓋川での越水, 北上川水系迫川支流の夏川で漏水。
- 2009 (平成21) 年10月8日 台風第18号による洪水
台風の北側にある前線が活発化し, 県北部や沿岸部を中心に大雨。死者1名, 重軽傷者5名, 床上浸水98戸, 床下浸水551戸。
- 2011 (平成23) 年9月20～22日 台風第15号による洪水
石巻市雄勝では日雨量431mm, 2日雨量531mmと観測史上最大。阿武隈川水系新川, 七北田川水系七北田川, 女川水系女川などで越水。河川及び道路など施設, 住宅及び農地などに大きな被害。
- 2015 (平成27) 年9月9～11日 多数の線状降水帯による洪水
台風第17号と台風から変わった低気圧から湿った空気が流れ込んだ影響で記録的な大雨。渋井川など11河川23か所で破堤, 死者2名, 住宅の全・半壊481棟, 床上浸水179棟, 床下浸水637棟。
(2015 (平成 27) 年 10 月 1 日現在)
(宮城県土木部河川課「みやぎ水害記録集」などから作成)

○大雨では内水氾濫にも注意

大雨で側溝・下水道や排水路だけでは降った雨を流しきれず, あふれてしまうことがあり, そのために建物や土地・道路が水に浸かってしまうことがあるので注意しましょう。

■大雪による災害

宮城県の平野部は東北地方としては降雪が少ないほうですが, 大雪による災害は山間部だけのものではありません。

例えば2014 (平成 26) 年の2月8～9日, 及び14～15日には低気圧の接近により広い範囲で大雪となり, 仙台では2月の降雪量が64cm (観測史上7位) となりました。また, 14～15日の大雪で, 丸森町大張地区・耕野地区などが孤立し, 救援のため自衛隊の災害派遣が要請されました。

■土砂災害

土砂災害には, 山腹や川底の石や土砂が長雨や集中豪雨によって一気に下流へ押し流される「土石流」, 地下水が粘土のようにすべりやすい地層にしみ込み, その上の地面がそっくりすべりだす「地すべり」, 斜面が突然崩れ落ちる「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」があります。国土交通省では全国の「土砂災害危険箇

所」を公表しています。これは国の調査・点検要領に基づき, 土砂災害の危険性の高い場所を都道府県が調査・抽出したもので, 県内には8,482か所(2015 (平成 27) 年 12 月 8 日現在) があります。

洪水や土砂災害などは, 日本の各地で発生が予想されているね。どこかの地域に行った際には, 地域の災害特性を把握しておくことって大切だね。



- 自分の住む地域や学校周辺にどんな災害リスクがあるのか調べてみましょう。
- また, どのような対策が取られているか確かめ, 自分でできることは何か考えてみましょう。